



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 株式会社ミスミグループ本社
 コード番号 9962 URL <http://www.misumi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役副会長 (氏名) 高家 正行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 CFO (氏名) 男澤 一郎
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5805-7401

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	127,152	29.6	15,013	17.3	15,075	19.2	9,338	34.5
25年3月期第3四半期	98,145	2.5	12,798	△1.6	12,649	△4.7	6,945	△5.4

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 11,784百万円 (52.6%) 25年3月期第3四半期 7,723百万円 (22.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	103.08	102.64
25年3月期第3四半期	77.64	77.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	152,432	113,075	73.8
25年3月期	136,302	103,630	75.6

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 112,448百万円 25年3月期 103,014百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.25	—	16.20	27.45
26年3月期	—	16.68	—		
26年3月期(予想)				13.62	30.30

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 当社は配当性向を基準に配当を決定しているため、利益の変動により配当額が増減いたします。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	26.1	18,500	10.1	18,500	9.5	11,000	11.3	121.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) SURUGA POLSKA Sp. z o. o.
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	90,925,984 株	25年3月期	90,925,984 株
26年3月期3Q	173,387 株	25年3月期	557,199 株
26年3月期3Q	90,597,303 株	25年3月期3Q	89,462,118 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替の円安傾向継続と株価上昇に伴い輸出関連企業の業績が持ち直してきたことなどから、緩やかに回復してきております。低迷していた欧州経済は、英、独を中心に持ち直しの動きが見られ、また米州経済も回復傾向となっており、設備投資も持ち直しております。一方、近年世界経済をリードしてきたアジア各国においては、中国の景気減速などの影響を受け、生産活動が伸び悩む情勢が継続しております。

このような環境においても、当社グループは高品質・短納期・低価格を追求するとともに高い納期遵守率を維持しております。さらに、海外の全現地法人に導入したウェブカタログやウェブ受注システムにより、「設計時間・発注の手間を削減したい」という顧客の潜在ニーズに応えるなど、価格だけでなく利便性の向上にも取り組んでおります。国際市場では、インドネシアに設立した現地法人にて販売を開始するなど、アジアを中心に営業拠点を拡充することで販売力を強化すると同時に、最適調達を目的とした現地生産・現地調達の取り組みも着実に実を結んでおります。また、欧米においても、平成24年11月にDayton Progress Corporation（以下Dayton社）及びAnchor Lamina America, Inc.（以下Anchor Lamina社）を買収し、新たな顧客層を取り込むことで、従前より行っているミスミブランドによる販売と合わせて大きく売上高を伸長することができました。

この結果、連結売上高は1,271億5千2百万円、対前年同期比で290億7百万円（29.6%）の増収となりました。利益面につきましては、営業利益は150億1千3百万円、対前年同期比22億1千4百万円（17.3%）の増益、経常利益は150億7千5百万円、対前年同期比で24億2千6百万円（19.2%）の増益、四半期純利益は93億3千8百万円、対前年同期比で23億9千3百万円（34.5%）の増益となりました。

・報告セグメントの業績

①自動化事業

主要顧客層である自動車業界では、需要は堅調に推移しましたが、液晶・半導体などのエレクトロニクス関連業界では生産活動の停滞が継続しました。そのような状況下、当社グループは国際市場においてミスミモデルを浸透させることで顧客数を拡大、売上高は721億8千7百万円となり、前年同期比では97億4千7百万円（15.6%）の増収となりました。営業利益は122億2百万円となり、前年同期比では22億5千8百万円（22.7%）の増益となりました。

②金型部品事業

金型部品事業は、主要顧客である自動車関連業界は底堅く推移したことから、Dayton社及びAnchor Lamina社を平成24年11月に買収したことにより、売上高は416億8千6百万円となり、前年同期比では194億8千4百万円（87.8%）の増収となりました。営業利益は24億2千2百万円となり、前年同期比では2億9千2百万円（13.7%）の増益となりました。

③エレクトロニクス事業

エレクトロニクス事業は、液晶・半導体業界の低迷の影響はあったものの、売上高は99億5千9百万円となり、前年同期比では7億4千9百万円（8.1%）の増収となりました。一方、営業利益は7億4千6百万円となり、前年同期比では1億6千万円（△17.7%）の減益となりました。

④その他事業

その他事業は、工具、保守・メンテナンス用品・消耗品（MRO）の各事業より構成されています。主力商品である超硬エンドミルの販売が好調に推移したことで、その他事業の売上高は55億9千5百万円となり、前年同期比では5億3千4百万円（10.6%）の増収となりました。一方、営業利益は3億4百万円となり、前年同期比では1億7千7百万円（△36.9%）の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ161億2千9百万円増加し、1,524億3千2百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が108億1千4百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が30億2千3百万円増加したこと、商品及び製品が24億1百万円増加したことにより流動資産が150億4百万円増加したこと、有形固定資産が19億1千5百万円増加したこと、無形固定資産が6億7千4百万円増加したこと、及び投資その他資産が14億6千5百万円減少したことです。

総負債は前連結会計年度末に比べ66億8千4百万円増加し、393億5千6百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が4億9千7百万円増加したこと、未払法人税等が20億8千7百万円減少したこと、賞与引当金が8億4千1百万円増加したこと、その他流動負債が38億9百万円減少したことにより流動負債が43億2千万円減少したこと、及び新株予約権付社債を発行したことにより固定負債が110億4百万円増加したことです。

純資産は前連結会計年度末に比べ94億4千5百万円増加し、1,130億7千5百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が61億6千4百万円増加したことにより株主資本が70億3百万円増加したこと、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が24億3千万円増加したことです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の75.6%から73.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、足元の業績動向を受けて、平成26年3月期の連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

[平成26年3月期 通期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）連結業績予想]

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	一株当たり 当期純利益 (円)
今回修正予想	170,000	18,500	18,500	11,000	121.37
前回発表予想	160,000	17,500	17,500	10,300	113.98

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間においてSURUGA POLSKA Sp. z o. o. は、重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,881	44,695
受取手形及び売掛金	30,553	33,576
有価証券	2,602	2,306
商品及び製品	13,711	16,113
仕掛品	1,289	1,640
原材料及び貯蔵品	3,759	3,599
その他	6,788	5,679
貸倒引当金	△227	△247
流動資産合計	92,358	107,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,927	8,008
機械装置及び運搬具(純額)	6,541	6,582
土地	3,854	3,826
その他(純額)	1,092	2,913
有形固定資産合計	19,415	21,331
無形固定資産		
ソフトウェア	3,911	3,472
のれん	6,653	6,307
その他	8,085	9,544
無形固定資産合計	18,649	19,324
投資その他の資産		
投資有価証券	3,292	1,806
その他	2,677	2,700
貸倒引当金	△92	△94
投資その他の資産合計	5,878	4,412
固定資産合計	43,943	45,068
資産合計	136,302	152,432

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,704	9,201
短期借入金	1,000	900
未払法人税等	3,744	1,657
賞与引当金	1,663	2,504
役員賞与引当金	291	630
その他	11,020	7,210
流動負債合計	26,424	22,104
固定負債		
新株予約権付社債	—	10,505
退職給付引当金	2,569	2,848
役員退職慰労引当金	498	537
その他	3,179	3,362
固定負債合計	6,247	17,252
負債合計	32,672	39,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,315	6,315
資本剰余金	16,449	16,639
利益剰余金	81,505	87,670
自己株式	△943	△294
株主資本合計	103,327	110,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	13
為替換算調整勘定	△333	2,103
その他の包括利益累計額合計	△313	2,116
新株予約権	351	306
少数株主持分	264	320
純資産合計	103,630	113,075
負債純資産合計	136,302	152,432

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	98,145	127,152
売上原価	57,503	72,731
売上総利益	40,641	54,420
販売費及び一般管理費	27,843	39,407
営業利益	12,798	15,013
営業外収益		
受取利息	157	152
補助金収入	—	93
雑収入	96	123
営業外収益合計	253	369
営業外費用		
売上割引	26	38
為替差損	360	228
雑損失	16	40
営業外費用合計	403	306
経常利益	12,649	15,075
特別利益		
固定資産売却益	175	—
関係会社株式売却益	224	—
関係会社清算益	—	99
特別利益合計	399	99
特別損失		
厚生年金基金脱退損失	984	—
移転費用	320	—
特別損失合計	1,305	—
税金等調整前四半期純利益	11,743	15,174
法人税等	4,797	5,820
少数株主損益調整前四半期純利益	6,945	9,354
少数株主利益	—	15
四半期純利益	6,945	9,338

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,945	9,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△6
為替換算調整勘定	731	2,437
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	777	2,430
四半期包括利益	7,723	11,784
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,723	11,775
少数株主に係る四半期包括利益	—	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動化事業	金型部品 事業	エレクトロ ニクス事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	62,440	22,202	9,210	5,060	98,913	△767	98,145
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	62,440	22,202	9,210	5,060	98,913	△767	98,145
セグメント利益	9,943	2,130	907	482	13,463	△664	12,798

2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上	金額
報告セグメント計	98,913
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△772
その他の調整額	4
四半期連結損益計算書の売上高	98,145

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,463
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△666
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	12,798

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「金型部品事業」セグメントにおいて、米国金型部品メーカー買収等により、当第3四半期連結累計期間にのれんが6,234百万円発生しております。

なお、取得原価の資産配分が完了していないため、発生したのれんは暫定的な金額であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自動化事業	金型部品 事業	エレクトロ ニクス事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	72,187	41,686	9,959	5,595	129,429	△2,276	127,152
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—
計	72,187	41,686	9,959	5,595	129,429	△2,276	127,152
セグメント利益	12,202	2,422	746	304	15,675	△662	15,013
のれん等償却前セグメント利益	12,202	3,975	746	304	17,228	△662	16,566

※(参考情報)

セグメント利益にDayton社及びAnchor Lamina社買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却費を加算した利益

2. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上	金額
報告セグメント計	129,429
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△2,207
その他の調整額	△69
四半期連結損益計算書の売上高	127,152

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	15,675
連結子会社の決算日と連結決算日が異なる事による調整	△376
その他の調整額	△286
四半期連結損益計算書の営業利益	15,013

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(補足情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アメリカ	中国	アジア	ヨーロッパ	その他	計
66,964	4,104	11,387	12,054	3,007	626	98,145

(注)売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	ベトナム	中国	アメリカ	その他	計
10,640	3,432	1,271	1,641	1,517	18,504

2. のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	自動化事業	金型部品事業	合計
当第3四半期連結累計期間償却額	184	—	184
当第3四半期末残高	61	6,234	6,295

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 地域に関する情報

(1) 売上高

(単位:百万円)

日本	アメリカ	中国	アジア	ヨーロッパ	その他	計
70,044	16,431	16,184	16,377	6,329	1,785	127,152

(注)売上高は当社グループの本邦と本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

(単位:百万円)

日本	ベトナム	中国	アメリカ	その他	計
10,323	4,252	3,237	2,055	1,462	21,331

2. のれんに関する報告セグメント別情報

(単位:百万円)

	金型部品事業
当第3四半期連結累計期間償却額	1,128
当第3四半期末残高	6,307